

2018年 新年のご挨拶



高森町長
草村 大成

創造的復興の更なる加速に向けて

平成30年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

熊本地震発災後2度目の年明けを迎えますが、高森に隣接し、ともに南阿蘇地域のコミュニティを形成している南阿蘇村では未だに多くの人が仮設住宅での生活を余儀なくされているなど、熊本地震の被害の爪痕は今尚深く残っています。

そのような中、本町では、昨年3月に「平成28年熊本地震 高森町復旧・復興計画」を策定し、①生活②観光③まちづくりの3つの観点で復旧・復興に向けた各種施策を実施し、創造的復興に向けて邁進しているところです。

本年も、震災からの創造的復興と地域住民の方々の安心・安全を最優先に位置づけ、復旧・復興計画に基づき、他の自治体も含めた広域的な復旧復興支援事業を推進して参りますとともに、防災・減災と初動体制の構築につきましても、情報通信基盤機能の優位性を最大限に発揮し、わかりやすさを徹底した行政サービスの情報化を推進して参ります。



平穏な成の年に



高森町議会議長
田上 更生

新年、明けましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

平成29年は、「熊本地震」からの復旧・復興に全力で取り組んで参りました。長陽大橋の開通に加え、俵山ルートの部分的な復旧は、高森町の経済復興に大きな力となりました。

今後、「南阿蘇鉄道」の復旧、「新阿蘇大橋」の建設が進められ、高森町の産業・観光復興に、躍進的な効果をもたらすものと、大きな期待を致しております。

さて、皆様から負託を頂いた私たち議会議員も残すところあと1年の任期となります。未来の高森町に向かった大きな政策を後押しして参りますと共に、議会の存在意義を問われる1年となります。

強固な産業基盤を造り、「少子高齢化」「地方創生」対策を優先的にを行い、豊かな経済を実感できる高森町・住み良

い高森町・健康的な高森町・充実した教育の高森町・生き甲斐を感じられる高森町を目指しております。

平成30年が高森町民の皆様

高森町議会

副議長 佐伯 金也

本 田 生 一

森 田 勝

立 山 広 滋

芹 口 誓 彰

興 梶 壽 一

後 藤 三 治

牛 嶋 津 世 志

重要文化的景観に選定！

高森町のシンボル・根子岳の南側に広がる前原牧野。この草原風景が昨年10月13日（金）、風景の文化財と言われる「重要文化的景観」に選定されました。

今回選定されたのは、阿蘇郡市7市町村にある7つの草原・森林・農村景観。熊本県と阿蘇郡市7市町村が「阿蘇一火山との共生とその文化的景観」をテーマに、世界文化遺産登録を目指し、共同で取り組んでいます。

古くより、人の手を介し維持・保全されてきた阿蘇の草原や営みは、日本の宝として皆で守っていく価値ある文化財です。

世界に誇れる日本の宝のひとつとして、町でも根子岳南麓の草原景観の保全と魅力発信に取り組んでいきます。

文化財保護法に則り、重要文化的景観に選定された範囲内で、現状変更を生じる行為を行う場合は、あらかじめ高森町教育委員会を経由して文化庁長官に届出が必要になります。（地域の方々がこれまで行ってきた農林畜産業や日常生活を営む際の行為は、届出の必要はありません。）

高森町教育委員会

☎62-0227